

平成30年度 Science Lectureship Award 国際学術講演賞 報告

数学・情報数理学研究部門 教授 渚 勝

第13回のSLAを11月22日に開催させていただきました。今年の受賞者は北海道大学の新井朝雄先生でした。新井先生は理学部物理学科の卒業生で、量子物理学に関わる解析学を研究されています。

今回のSLAは、理学部創立50周年記念講演会の前日の開催であったため、少し変則的になり学生委員会を中心に多田先生、筒井先生とともに準備をすすめました。当日は約80名の参加者がありました。懇親会にも多くの学部生、院生の参加がありました。

講演は「関数解析学と量子物理学」で、雰囲気や内容については理学部のホームページで写真や原稿をご覧ください。

量子力学の基本的な考え方を数学の言葉で記述するプロセスの説明でした。数学系の学科では学部3年以上であることが期待される内容ですが、緩むこと無く解説をしていただきました。正確さをあきらめて、易しく話すことも可能であったとは思いましたが、難しいところは難しいとして、いろいろな問題をクリアにしながらか難解な物理現象を数学的に明確にしていく研究の歩みを、その試みを、その出来栄を味わってほしいという新井先生の思いが詰まった講演でした。学部1、2年生は難しいと感じたかと思います。

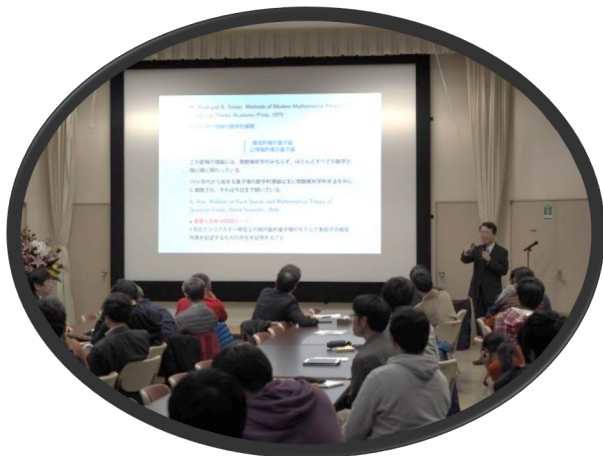
研究へ向かう次のステップへの誘いであったと感じていただければ、企画に携わったものとして望外の喜びです。



千葉大学西千葉キャンパス、
自然科学研究棟1大会議室にて開催



朝井教授の紹介をする本学の今井教授



質問に丁寧に回答される新井教授



授賞式の様子



スピーチを述べられる新井教授



和やかな懇親会の様子